

令和2年度山口県公共事業評価委員会（第6回）審議概要

日時：令和2年10月22日（木）
場所：県庁1階 会計管理局管理室（Web会議により実施）
出席委員：進士委員長、有吉委員、浦上委員、小谷委員、塩田委員、関根委員、伊達委員、
深田委員、船崎委員、古田委員、三輪委員
※各委員はオンラインで参加

議事概要

◆補足事項等説明

① 宇部・西宇部団地 公営住宅整備事業(番号 4-5)山口県事業【事後評価】・・・第5回審議

○ 建替に伴う従前入居者の家賃滞納について

<説明及び審議>

県)

配布資料(パワーポイント)により説明。

委員)

前回の説明の中では、全員のアンケートという話は聞いておらず、全員が納得された上で替わるという話はなかったように思う。今回説明いただいたのでよく理解できた。

委員)

1か月程度の家賃滞納者が3世帯ということだが、そういった世帯は訴訟になる前に滞納が解消される見込みであるということか。

県)

滞納が重なる前に早めに指定管理者の方でお知らせをしたり、相談に乗ったり、なるべく滞納分についても納付してもらえるようにしている。収入が減った等の理由がある場合には、家賃の減免制度等もあるため、なるべく退去に至らないような対応を指定管理者が直接行っているところである。

委員)

前回の説明の中で感じたことだが、従来の住宅では2DK 一括で、住宅に住む人が合わせるといったタイプから、色々なタイプの住宅を作り、ライフスタイルに合わせ変更することで、自由度が増え、より県民サイドに立ったことをやってもらった上で、家賃滞納が少なくて、退去者が少なくて、県民に役に立つ住宅行政になっている印象を持った。

先ほども話があったが、今後、人口減少等は避けられないので、そういったところでの県営団地のあり方の一つの形かなというように聞いた。

◆説明及び審議

① 主要地方道 山口宇部線 道路改築事業(番号 4-1)山口県事業【事後評価】

<事業説明及び審議>

県)

配布資料(パワーポイント)により説明。

委員)

山口宇部線の混雑度はどのようになっているか。

県)

小郡上郷、新山口駅の付近になるが、H27 センサスデータによると 1.38 という数値が出ている。

委員)

1.38 となると国道 9 号の整備前の混雑度より混雑しているということになる。山口宇部線に渋滞が起きることではないか。

県)

混雑度の数値上はそのようになる。交通量がやや多いというのはあるが、今のところ非常に渋滞がひどくてどうかしてほしいという声が届いているとは、認識していない。

委員)

信号が少ないからということか。

県)

自動車専用道路で信号がないので、そういうことも関係しているかもしれない。

委員)

この事業の事業効果・投資効果は実際使ってみて非常によかったと評価している。疑問点として現在は、暫定 2 車線で、あくまで 4 車線の土地を取得しているとのことだが、4 車線ができる面積を取得しているのか。

県)

そのとおりである。

委員)

渋滞がそれほどひどいとは自分自身感じていない。将来的にいつごろ使われるのか見通しはあるのか。

県)

4 車線化をいつ頃整備するなど具体的な計画は決まっていない。周辺道路の交通状況等の推移を見ながら、今後、考えていくものと思っている。

委員)

個人的には経済情勢等色々な面を考えても、4 車線にする必要性はあまり出ないと思っている。当初は、4 車線ベースで用地を取得し、工事段階で 2 車線としているが、必要性等を踏まえて変更したのか。将来的には需要予測がまだまだ増えると計画されたのか、または、それプラス用地が一緒なら将来 4 車線にしやすいなど何かあったのか。

県)

当該事業については、当初から、最終的には 4 車線で供用することとして整備を開始しているが、整備の手順として、まずは暫定 2 車線で供用開始しており、現状で暫定 2 車線整備となっている。

委員)

ひとまず様子を見たうえで、需要動向を見て検討するということか。

県)

そのとおりである。

委員)

将来ずっと 4 車線ができないのではと懸念している。観光面などもあるので、維持管理費もかかるので、ぜひ 4 車線部も活用してほしい。

委員)

2 点ほどお尋ねする。

1 点目は、信号がなくて速いという利点はあるが、冬は結構凍結するのではないかとと思っている。私は、なるべく冬に通ることを避けている。冬の対策はどうなっているのか。

2 点目は、現在、2 車線あるところを 4 車線分使えるようになっていくかどうか分からないが、もしも事故が起きた場合、回避とか救急車が行くことが、うまく今の道をまだ整備されていない部分を活用されるよう

な、そういうイメージもあるのか。

県)

まず、1 点目の冬季に関して、橋梁等もあるため気温が下がる時は路面が凍ることも考えられるが、これに関しては NEXCO 西日本に管理を委託しており、パトロールや凍結防止の塩化カルシウム散布などの対応を行っている。

また、事故の時、4 車線部の用地を使うのかということについては、用地は確保しているが橋梁等の整備をしていないため通ることができない。しかしながら、当路線は路肩が 1.25m と広いことや、中央分離帯を硬いものにせず、場合によってはそこを超えて片側交互通行ができる形にしており、事故時はそのように対応している状況である。

委員)

気になるのが、事故の情報が乗ろうと思った時にはわからないという点である。それがわからないまま乗ってしまい、通行止めになると車が動かなくなる。だからこそ、冬は極力利用しないようにしている。乗る前に事故の情報が把握できるとよい。例えば、国道交通省が管理している富海の第 2 トンネル、第 3 トンネルでは、こういう情報が突然ラジオのスピーカーに入ってきて状況が把握できる。

事前にわかるシステムなどがないと降りるに降りられないなどの懸念がある。そのような情報があれば教えていただきたい。

県)

山口宇部線の通行止め等の交通情報については、付近の道路情報表示板等で広域的な情報として載せるようにしている。また、自らアクセスするようにはなるが、県の道路を管理している道路整備課のホームページに、「道路見えるナビ」という県が管理している道路の通行止めなどの交通規制の情報を掲載しているページがあるので、そちらで確認することができる。

委員)

ただ、事前に調べないで乗ってしまった時の情報を伝える仕組みがどうか出来ないかなと感じている。先日も、新南陽の永源山付近にはなるが、道が混雑しており、なぜそこが通れないのか混んでいるのかわからなかった。実際は、土井でトラックが横倒しになる事故があり、混雑が発生していた。そういう情報がわかるようになることが必要である。カーナビでそういうサービスを配信しているものもあるようである。

委員)

以前、この道路の整備中に逃げ道のない道路のため、事故が起こった時の対応について質問したところ、NEXCO 西日本が 25 分くらいすると駆けつけて対応してくれるとのことであった。新山口駅と宇部空港を会議のためによく利用しているが、事故対応の余裕をもって行動している。だから、心配についての意見がよくわかる。

追加の意見として、埋蔵文化財の調査を行ったとあるが、歴史文化とあるがどのようなものが具体的に出たのか。朝田あたりの古墳関係なのか。どこに行けば記録保存が見られるのか。評価とは直接関係ないが、どんなものが出たか気になる。

県)

朝田で見つかった埋蔵文化財は、朝田墳墓群である。記録によると、古墳時代の箱式の石の棺、横穴式の墓、貯蔵の穴などが見つかっており、それを記録している。

委員)

そうではないかと思っていた。

委員)

どこに行けば見ることができるのか。

県)

県の教育委員会で見られると思う。

委員)

中央分離帯が柔らかいものにしてあるとのこと、考えてそうしてあると聞いて納得した。現実、対向車が走っている中で U ターンは至難のわざである。4 車線になればいいと思うが、U ターンなどスムーズにできるように運用でもっと時間が短縮できるように考えてほしい。

委員)

嘉川から維新公園までの間は、一回入ると逃げられない。入る前に混んでいることの情報がなくて入ってしまう。降りる誘導板みたいなものがあればよいと思う。

② 一般県道 中ノ関港線 道路改築事業(番号 4-2)山口県事業【事後評価】

<事業説明及び審議>

県)

配布資料(パワーポイント)により説明。

委員)

もともと市道の橋があり、そこを渡らざるを得なかったところを、県が新しく橋をかけて、撤去したのか。

県)

そのとおりである。防府市道の狭い橋があった。

委員)

整備した道路が直線ではなくコの字型に曲がっているのは、もともとの市道の影響か。

県)

北側の 2 号線との交差点部が山陽自動車の下を通る以前からあった道になるが、河川を越えるときの橋の下の余裕高さを確保した時に、交差点にすりつくまでの縦断勾配を緩やかにするために距離が必要であるため、コの字型の線形になっている。

委員)

直線で整備すると必要な高さが確保できないということか。

県)

堤防の高さから山陽自動車道をくぐる道路の高さが確保できない。

委員)

直線であれば、時間短縮になり、救急車も早く行けると思う。

委員)

以前の審議の際に視察した、まわりながら入っていく橋梁のある道路か。曲がって大回りしているが大きな事故があったとか、なにか不都合が生じたとかは今のところないか。

県)

今のところそのような話は聞いていない。

委員)

道幅も広がり、スムーズに通行できるようになりメリットの方が大きいという認識か。

県)

そのように認識している。

委員)

以前、現地視察して、今回再び資料を見ながら説明を聞くと、自分が見たイメージと重なっているのにより理解しやすいように感じた。

委員)

市の橋は撤去したのか。

県)

車両の通る橋は撤去しているが、歩道に関しては市道として残っている。